



第15回GCOEエネルギーセミナー

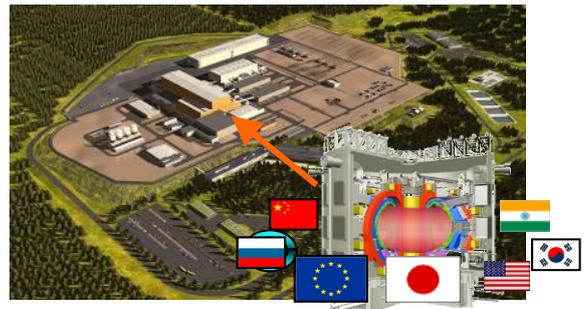
「国際化の中の日本のプレゼンス」 —核融合エネルギー実現への道、ITER 計画—

ITER 国際核融合エネルギー機構長
本島修 氏

2012年12月18日(火)13:00~14:30
京都大学時計台ホール

〔講演概要〕

核融合は太陽のエネルギー発生メカニズムとして知られており、海水など地球上に豊富に普遍的に存在する重水素とリチウムを燃料とし、長寿命放射性核種を残さず、安全上も大きな利点のあるエネルギーです。現在、50万キロワットの熱出力での燃焼実験を目指す実験炉ITERが、日本、欧州、中国、韓国、インド、ロシア、米国の国際協力により、フランス南部で建設が進められています。ITER計画は、人類の半分以上の人口を擁する国家・地域の参加する壮大な国際プロジェクトで、核融合エネルギー実現に向けた重要なステップです。この国際協力研究機関の機構長であり、京都大学の卒業生である本島修氏が、核融合エネルギーの研究開発の現状、将来の見通しについて紹介します。講演では、国際協力の運営、その中での日本の技術や学術成果の位置も含め、これまでに類例のない科学技術のチャレンジについても解説し、人類の未来に向けた貢献、国際的な活躍を目指す若い人材へメッセージを送ります。



〔講師略歴〕

- 1971 京都大学理学部卒
- 1976 京都大学大学院工学研究科電気工学第二専攻博士課程修了
- 1976 京都大学ヘリオトロン核融合研究センター助手
- 1987 ヘリオトロン核融合研究センター教授
- 1989 核融合科学研究所教授
- 2003 核融合科学研究所所長
- 2010 ITER 国際核融合エネルギー機構長（現職）



入場無料・事前申し込み不要

お問合わせ：京都大学大学院エネルギー科学研究科グローバルCOE事務局
(工学部2号館103B号室) gcoe-office@energy.kyoto-u.ac.jp, (075)753-3307